

# 長岡市長記者会見要旨

日 時：令和5年3月30日（木）午前10時から

会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

## 【会見項目1：長岡まつり大花火大会について】

### （市長）

今年の長岡まつり大花火大会は、昨年に引き続き、通常開催します。5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類から5類への見直しが行われる予定ですが、体調の悪い方は会場に来ないでいただくなど、しっかりと感染対策をして開催をいたします。

こちらに今年のポスターがあります。去年のポスターは、第64回新潟広告賞グラフィック広告部門で優秀賞を獲得いたしました。今年のポスターも素晴らしい出来栄えだと思っております。関係者の皆様からこのポスターを大いに利用いただいて、PRをお願いしたいと思っております。

有料観覧席チケットの長岡市民先行販売は、4月10日から申込受付を開始します。4月1日発行の市政だより4月号とあわせて、申し込み方法などが記載されたパンフレットを配布いたしますので、ぜひ多くの市民の皆様からお申し込みいただきたいと思います。

昨年はメディアの皆様からも取り上げていただき、SNSでも開催についてPRしていただきました。今年の花火大会も長岡の慰霊・復興・平和への想いを日本全国、そして世界に届けていきたいという思いで開催いたしますので、広く発信していただきたく、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

大会の概要につきましては、主催団体である一般財団法人長岡花火財団から説明させていただきます。

### （長岡花火財団 高見理事長）

今年の花火大会について概要を説明させていただきます。例年通り8月2日・3日に通常開催いたします。

花火の規模につきましては、昨年度と同等の規模を予定しております。安全対策等を徹底するため、混雑が予想される会場については、雑踏事故防止、また長期の場所取りにおける熱中症の防止の観点から、昨年同様、今年も引き続き会場内は全席有料観覧席とします。

5月8日以降に感染症法上の分類が5類に引き下げられますが、一般的な感染症対策、熱中症対策へのご協力を呼び掛けてまいります。

会場内にはアルコール飲料を含む飲食販売ブースの出店を再開します。昨年同様、飲食の持ち込みも可能です。しかしながら、長岡まつり大花火大会は日本一マナーの良い花火大会を目指しておりますので、お客様にはぜひ観覧マナーの協力もお願いしたいと考えております。

有料観覧席につきましては、4月10日から市民先行販売の申込受付を開始します。昨年は5月からでしたので、約1カ月早くなっています。市政だより4月号と一緒に配布するパンフレットに申し込みのはがきがついています。インターネットおよびパンフレットの申し込みはがきで、4月28日まで申し込みを受け付けます。その上で抽選を行い、5月26日までに当選をお知らせします。その後、残ったチケットにつきましては、5月29日からインターネットで一般販売の抽選申込を受け付けます。昨年の市民向け販売は全チケット数の約4割でした。人気の右

岸・長岡駅側のマス席やベンチ席は抽選となりましたが、左岸・川西側には、一部チケットの売れ残りもありました。市民の皆様にはぜひチケットをご購入いただき、ゆっくりとご観覧いただきたいと思っております。

席種と席の配置につきましては、一部、昨年と変更したところがありますが、各日16万4,000人分、2日間で32万8,000人分の席を用意しております。人気の高い右岸・A会場のイス席、左岸・B会場のマス席については増設します。また昨年、千秋が原南公園周辺が実質上、無料で観覧できるスペースとなっていました。混乱が起きたため、北エリア席として有料化を図ります。昨年一つのゾーンとしてチケットを販売した南エリア席につきまして、エリア内でやや混乱が生じたため、長生橋付近、中央、大手大橋3種類のゾーンに分割します。陸上競技場のフィールド席を増設します。その他若干の修正を行いながら、基本的にこのパンフレットに出ている形で席種を販売いたしますので、ご確認いただくよう呼び掛けていきたいと思っております。なお、ウオロク前の車道については、管理ができないということで、警備上の観点から警察などとも協議して、今年も引き続き閉鎖を予定しております。

いろいろな資材や人件費が高騰していることから、今年の花火大会の収支につきましてはかなりタイトな状況になっております。万一チケットが売れ残った場合は、大会自体が赤字になりかねないため、ぜひ多くの方に来ていただきチケットの完売を目指してまいります。

花火の構成や内容につきましては、スポンサーの皆様、花火師と協議をしているところですが、概ね去年と同様の素晴らしい花火を打ち上げていただけるものと考えております。

(記者)

昨年と変わっている主な点は、有料席の配置ですか。

(長岡花火財団 高見理事長)

一番の変更点は、チケットの市民向け先行販売が昨年より1ヶ月早まっていることです。

(記者)

1カ月前めた理由はありますか。

(長岡花火財団 高見理事長)

昨年は感染症の動向を見極めるために販売の時期を少し遅らせたということがありまして、本来の余裕を持って販売できるスケジュールに戻させていただいたということです。

(記者)

席数を昨年より各日1,500人多い16万4,000人分にしたとのことですが、昨年チケットが一部売れ残ったということで同じ規模にしたのは理解できる一方で、ウイルス禍前の日常に戻っていく中、ウイルス禍前は2日間で108万人が訪れていたことから、この席数で収容できるのか疑問があります。それについてはどのようにお考えでしょうか。

(長岡花火財団 高見理事長)

ウイルス禍前の108万人という最大時につきましては、会場外から観覧される人数もカウントしておりましたが、昨年からはチケットの販売数をもとに、入場者数を発表する形に変えました。今年も会場内に入れず、会場外で見られる方が増えることは想定しておりますが、引き続き混乱を避け事故を防止する観点から、会場に近づいての観覧は控えていただくよう呼び掛けを継続したいと考えております。安全に見ていただくためにも、少し離れたところでゆっくり見ていただくか、また今回、報道各社からもご協力をいただける見込みがございますので、テレビ等での観覧の呼び掛けをさせていただきたいと考えております。

(記者)

昨年、千秋が原南公園等で混乱が起きたということを指摘されていましたが、会場外で混乱が起きた場合の責任問題はどのような形になるのでしょうか。

(長岡花火財団 高見理事長)

いろいろな責任の形はあると思いますが、花火大会に起因して事故が仮に発生すれば、一定の道義的責任も含めて主催者にはないとは言えないと思っております。会場外で私どもができることは限られますが、そういったことがないようにマナーの向上、良識ある行動について十分な周知や呼び掛けを行わせていただきたいと思います。

(記者)

昨年初めて全席有料化したことによる運営上の課題や、今年それを直したことについて教えてください。また、昨年の販売実績を教えてください。

(長岡花火財団 高見理事長)

今回エリア席を3つに区分しました。左岸で無料席から有料席化したところが大変広いエリア席になっていて、エリア内でチケットを持っている方の場所取りで、多少混乱が生じました。また、見え方が大分異なる席が同一の料金ということがありましたので、今年は、そのエリアを区分して、見えやすい部分を少し高くさせていただき変更を加えております。

(長岡花火財団 戸田事務局長)

昨年は観覧席の97%ほどの販売実績がございます。8月2日が15万人、8月3日が13万人、計28万人と公式発表しています。ただし、団体のお客様などで当日の状況を見られて、会場までお越しいただけなかった方々がおられます。

(記者)

磯田市長、飲食の制限もない状態で開催できる方針が決まったことについて、改めて受け止めをお願いします。

(市長)

昨年は感染拡大も散見される中で、慎重を期して準備を万全にしながら3年ぶりの開催となりました。結果的にその後の感染拡大もなく、全国から「よくやってくれた」、「長岡が開催したことによって、花火大会とかお祭りを開催できた」というような評価や言葉もいただきました。今年はそういう状況ではありませんが、新型コロナウイルスが根絶されたわけではなく、それなりの対応をしっかりとれる体制を整えながら開催していきます。

安全安心で事故のない、感染拡大がない花火大会にしていければいいのではないかと思います。

(記者)

来月10日から市民優先の観覧席チケット販売が始まりますが、市民への呼び掛けがありましたらお願いします。

(市長)

市民の皆さまには、ぜひ優先販売を利用していただき、多くの方から観覧していただきたいと思っております。

(記者)

例年、花火を何万発打ち上げているか教えてください。

(長岡花火財団 戸田事務局長)

発数より一発一発の花火に込められた想いをお伝えしたいという部分があり、大変申し訳ありませんが花火財団では発数を公表しておりません。

(記者)

花火の規模は、昨年度と同等の規模を予定ということについて、発数が同規模ということでしょうか。

(長岡花火財団 高見理事長)

長岡花火はスポンサーを読み上げてから打ち上げている形式で、台数と呼んでいます。1日39台という花火を打ち上げており、台数がほぼ変わらないということです。

発数について少し申し上げさせていただきますと、小さい玉もあれば大きい玉もありますので、単に発数だけでは評価できないと考えています。あまり他との比較するつもりはありませんが、長岡花火は信濃川の河川敷という非常に川幅の広いところで打ち上げていて、一般的に一発の玉が大きい花火大会です。そういうこともあって、単に発数だけを競うような発表の仕方はしておりません。

**【会見項目2：個別接種は5月8日から、集団接種は5月20日から  
65歳以上の高齢者、重症化リスクの高い方などへの追加接種を開始】**

**(市長)**

新型コロナウイルスワクチンの追加接種について、長岡市は個別接種を5月8日から、集団接種を5月20日から開始します。

対象は、初回接種を終了した65歳以上の方、5歳以上64歳以下で基礎疾患のある方、感染した場合重症化リスクが高いと医師が判断した方、医療機関や高齢者施設等の従事者の方です。それ以外の方については、令和5年春開始の接種では対象外になります。

令和5年春開始接種の基本方針をご覧いただきたいと思いますが、対象者は、合計で約10万人を見込んでおります。

続いてスケジュールですが、5月8日から接種が受けられるよう、4月21日以降接種券を順次発送いたします。この中に、申し込みのご案内が入っておりますので、必要事項を記載の上、会場に行って接種していただきます。水色の接種券を、紫色の封筒に入れて発送いたしますので、接種券が届いた方から順次接種していただく段取りになっております。

集団接種につきましては、前回接種を集団接種で接種された65歳以上の方を対象に会場と日程を指定してお知らせします。その他詳細は資料に記載の通りです。

今回の接種開始の対象者のうち、高齢者や基礎疾患のある方は、前回接種から約半年が経過してワクチンの効果が減少し始めておりますので、重症化予防のために積極的なワクチン接種をお願いしたいと思います。

**【その他の質問事項】**

**(記者)**

明日から統一地方選挙が始まりますが、市長はどの陣営に応援に行かれる予定でしょうか。

**(市長)**

県議選も市議選も応援スピーチの依頼があったところには出向いております。特定の方、特定の政党を支援するという形では私は動いておりません。

**(記者)**

明日告示の県議選について、27選挙区のうち13選挙区で選挙が行われず、半分近くが選挙の行われない無投票当選と見られていますが、それについてどのようにお考えになりますか。

**(市長)**

議会制民主主義の根幹に関わる問題です。長岡は、多くの方々が手を挙げておられるということで、立候補される方は大変ですが、有権者にとってはとてもいいことだと思っています。

やはり無投票ではなく選挙になるのが、望ましいのではないかと考えております。選ばれた方が住民の声を代表して届けていくのが本来の制度の趣旨ではないかと思っています。

(記者)

県議選でどのような争点や議論を望みますでしょうか。一つは、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働をめぐるものと思っています。

(市長)

新潟県はいろいろな課題に直面していると思います。その一つが原発再稼働問題です。そして、経済全体が、ポストコロナの中で勢いを起こすための産業政策も大きな課題です。そして、いろいろな課題の先に人口減少対策ということがあります。そういう多くの課題について県議選で、それぞれの候補者に表明していただき、有権者の判断を仰いでいただきたいと思っています。

(記者)

先日の議会で令和5年度の当初予算が可決されました。また、令和4年度予算も含めて全体的な振り返りを伺ってもよろしいですか。

(市長)

令和4年度予算は、ウイルス禍の厳しい状況の中で、ポストコロナの長岡の成長を作りたいという思いを込めた予算で執行して参りました。その一つが長岡まつり大花火大会で、いざという時には4億5,000万円を補填するという予算でした。また、今年7月22日に先行オープンする米百俵プレス ミライエ長岡の開設準備に向けて、万全の体制を令和4年度から準備してきました。子育て支援も含めて、ポストコロナの長岡の発展を、いろいろな政策で取り組んできたと思っています。

令和5年度予算は、その上にさらに花を開くような動きを加速できるような予算にしたいということで、今回可決いただきました。4月からその予算をしっかりと執行しながら、ポストコロナの長岡の明るい未来を作っていきたいと思っています。

(記者)

昨年度、長岡まつり大花火大会の補填のため4億5,000万円の補正予算がありましたが、今年度もそういったことはありますか。

(市長)

今年度は債務負担行為により、いざとなれば支出できる予算があります。私は絶対ないという思いですが、絶対ということは世の中にありませんので、その時のための対応できるようにしてあります。